

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人

鹿児島市社会福祉協議会

令和6年度 事業報告

わが国では、少子高齢化や人口減少が進む中、地域社会においては、住民相互のつながりや人々の交流の希薄化などを背景として、ひきこもりやヤングケアラー、社会的孤立など制度の狭間にある課題が顕在化するとともに、物価上昇による生活への影響などもあり、住民が抱える福祉の課題は複雑化・複合化しています。

このような中、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるような地域を共に創っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた取組の強化が求められています。

鹿児島市社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、このような状況を認識する中で、「第5次地域福祉活動計画」（令和4年度～8年度）に基づき、地域住民、関係団体及び鹿児島市（以下「市」という。）との連携を緊密に図りながら様々な事業に取り組みました。

令和6年度は、市の「重層的支援体制整備事業」の一環である「地域づくり事業」を新たに受託し、複雑化・複合化した課題に対して関係機関と連携を図りながら必要な支援を行いました。

また、校区社協やご近所サロンへの支援など地域のつながりを広げる取組や、子ども食堂への支援など子どもの健やかな育成を図る取組等を引き続き行うとともに、社会福祉法人が分野を超えて連携・協働するための取組を行いました。

さらに、災害ボランティア活動支援として、能登半島地震等で被災した石川県珠洲市の災害ボランティアセンターへ職員を派遣したほか、本市での災害に備えて、市やライオンズクラブとの協力協定を締結しました。

そのほか、大規模災害等が発生した際の備えとなる、事業継続計画（BCP）を策定しました。

以下、令和6年度の事業の実施状況について報告します。

〔重点目標に対する実施状況〕

1 地域福祉活動の推進

地域福祉活動の担い手の掘り起こしや活動参加のきっかけづくりを目的とした講座の開催、子ども食堂の運営に関する支援、近所の住民同士で行うサロン活動や福祉団体に対する助成などを引き続き行うとともに、子どもの食生活に困窮するひとり親世帯等に対して定期的に食品を配布するなど、ニーズや課題を把握し、必要な支援につなげていく取組を行いました。

また、市の重層的支援体制整備事業における多機関協働会議の構成メンバーとして参画するとともに、「アウトリーチ等を通じた継続的支援及び参加支援業務」に加え、新たに「地域づくり事業」を受託し、複雑化・複合化した課題に対して、関係機関と連携しながら必要な支援を行いました。

そのほか、「社会福祉法人連絡会」では、研修会を開催し、職員間の連携強化や情報の共有を図りました。

2 校区社協活動への支援

地域における福祉活動の中心的役割を担う校区社協に対しては、引き続き、広報紙作成やふれあい子育てサロンへの助成を行うとともに、研修会の開催や本会のホームページでの活動紹介、「救急医療情報キット」の配布等を行いました。

また、新たに見守り活動用の缶バッジを作成・配布するとともに、校区社協活動事例集（第5集）を作成しました。さらに、他校区社協の取組等に関する情報提供などを引き続き行いました。

そのほか、校区社会福祉協議会連絡協議会に対しては、校区社協相互の情報共有と交流を図るため、研修会や地域別の意見交換会開催等の支援を行いました。

3 支部及び地域福祉館における地域福祉の推進

支部や地域福祉館においては、地域福祉支援員や地域つながり支援員との連携を図りながら、校区社協等への支援のほか、小地域ネットワーク団体等の登録や地域福祉支援ルームの運営を行いました。

支部では、地域の会合等に積極的に出向いて意見交換等を行うとともに、各種相談等に対応しました。

また、地域福祉館（41館）では、地域団体と連携した様々なイベントの開催、タブレットの貸出、福祉相談、ボランティア出前講座、福祉館サロン、高齢者安全杖の受渡し等を行うとともに、各館ごとにイベント情報等を掲載した「福祉館だより」の発行や本会のSNSなどを活用して、地域の方々へ情報提供を行いました。

4 ボランティア活動の振興

ボランティアセンターの運営をはじめ、ボランティア推進校に対する活動費の助成、各種講座や「サマーボランティア体験」等による推進・支援活動を実施したほか、「わくわく福祉交流フェア」（市と共催）を開催しました。

そのほか、災害ボランティア活動支援として、能登半島地震及び奥能登豪雨で被災した石川県珠洲市の災害ボランティアセンターへ3回にわたり職員を派遣するとともに、本市での災害に備えて、市やライオンズクラブとの協力協定を締結しました。

5 成年後見制度の利用促進

高齢化の進展、認知症高齢者の増加等により成年後見制度に対するニーズが年々増加・多様化している中、「鹿児島市成年後見制度利用促進計画」に基づき中核機関として関係団体と協力しながら、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方々に対する相談対応を行うとともに、個々のケースに応じた適切な機関の案内などに努めました。

また、講座の開催や地域の研修会等へ出向くなど、広報啓発に努めたほか、後見人等の選任支援（受任者調整）にも取り組みました。

6 介護認定調査の実施

要介護及び要支援の認定を受けようとする申請者の自宅などを認定調査員が訪問し、心身の状況や環境について、公正・中立な調査を実施しました。

7 指定管理者制度導入施設の適正な管理

地域福祉館（４１館）、高齢者福祉センター（与次郎、東桜島、谷山、桜島、郡山、吉野、伊敷）、心身障害者総合福祉センター及び吉田福祉センターについては、より多くの市民にご利用いただけるよう、新たな講座やイベント等を実施するとともに、引き続き適正な管理運営に努めました。

8 共同募金運動への取組

鹿児島市共同募金委員会と連携し、町内会や校区社協、民児協など各福祉団体とともに募金運動を実施しました。

また、赤い羽根ピンバッジを引き続き作成・配布するとともに、新たに地元プロスポーツチームとのコラボ缶バッジを作成し、試合会場で募金協力者に配布する取組を行うなど、活動に対する機運の醸成に努めました。

9 広報活動

市民の方々に、地域福祉に対する理解や本会の各種事業への積極的な参加や協力を得られるよう、広報紙「かごしま市社協だより」（視覚障害者向けには「音声版社協だより」）を年３回発行し、町内会や事業所等に配布するとともに、「社協出前講座」の実施、市の広報紙「市民のひろば」への各種情報の掲載や報道機関への取材依頼等を通じて広報啓発に努めました。

また、ホームページやLINEに加え、新たにフェイスブックやInstagramを活用して最新情報の発信を行いました。

10 法人の運営

事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議するため、適宜、理事会及び評議員会を開催しました。

また、大規模災害や感染症等流行時の備えとなる、事業継続計画（BCP）を策定しました。

事業を実施するにあたっては、必要な人材及び寄附金や会費、共同募金助成金等の経営資源の確保に努め、職員に対しては、適切な労務管理と職責や職務内容に応じた研修を実施し、資質向上を図りました。

令和6年度 事業報告附属明細書

目次

令和6年度 事業報告附属明細書	4
第1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会	5
1 理事会の開催	5
2 評議員会の開催	5
3 評議員選任・解任委員会	6
第2 監査	6
第3 実施事業の概要	7
1 地域福祉活動の推進	7
2 校区社協活動への支援	9
3 支部及び地域福祉館における地域福祉の推進	12
4 ボランティア活動の振興	14
5 成年後見制度の利用促進	18
6 介護認定調査の実施（市から受託）	20
7 心身障害者（児）福祉活動の推進	20
8 高齢者福祉活動の推進	21
9 施設の管理運営	21
10 生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会から受託）	27
11 共同募金運動への取組	28
12 広報活動	28
13 法人の運営	29
第4 相談・苦情の処理状況	30

第1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

1 理事会の開催

	開催日	審議事項
第1回 通常理事会	5月30日	(報告事項) 報告第1号 職務執行状況について (決議事項) 第1号議案 職員就業規程等一部改正の件 第2号議案 令和5年度事業報告 第3号議案 令和5年度収支決算 第4号議案 令和6年度収支補正予算(第1号) 第5号議案 理事の退任に伴う理事候補者推薦の件 第6号議案 定時評議員会招集の件 第7号議案 事務局長選任の件 第8号議案 評議員選任・解任委員会委員の退任に伴う補欠選任の件 第9号議案 任期満了に伴う評議員選任・解任委員会委員選任の件 第10号議案 評議員の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第11号議案 評議員選任・解任委員会招集の件
第1回 臨時理事会 (決議の省略)	10月23日	(決議事項) 第12号議案 令和6年度収支補正予算(第2号) 第13号議案 理事の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第14号議案 決議の省略による臨時評議員会招集の件 第15号議案 評議員の退任に伴う補欠候補者推薦の件 第16号議案 決議の省略による評議員選任・解任委員会招集の件
第2回 通常理事会	3月14日	(報告事項) 報告第2号 職務執行状況について 報告第3号 鹿児島市による財政援助団体等監査について 報告第4号 中間監査について (決議事項) 第17号議案 令和6年度収支補正予算(第3号) 第18号議案 役員等賠償責任保険契約締結の件 第19号議案 定款一部変更の件 第20号議案 鹿児島市障害者基幹相談支援センター運営業務委託契約締結の件 第21号議案 組織及び事務分掌に関する規程等一部改正の件 第22号議案 職員出向規程制定の件 第23号議案 職員給与規程一部改正の件 第24号議案 常勤役員報酬改定の件 第25号議案 役員等の報酬等に関する規程一部改正の件 第26号議案 業務委託におけるハラスメント防止に関する規程制定の件 第27号議案 ハラスメントの防止に関する規程全部改正の件 第28号議案 令和7年度事業計画 第29号議案 令和7年度収支予算 第30号議案 臨時評議員会招集の件

2 評議員会の開催

	開催日	審議事項
定時 評議員会	6月20日	(報告事項) 報告第1号 重層的支援体制整備事業について (決議事項) 第1号議案 令和5年度事業報告 第2号議案 令和5年度収支決算 第3号議案 令和6年度収支補正予算(第1号) 第4号議案 理事の退任に伴う補欠選任の件

	開催日	審議事項
第 1 回 臨時評議員会 (決議の省略)	10月28日	第 5 号議案 令和 6 年度収支補正予算 (第 2 号) 第 6 号議案 理事の退任に伴う補欠選任の件
第 2 回 臨時 評議員会	3月21日	(報告事項) 報告第 2 号 鹿児島市障害者基幹相談支援センター運営業務委託契約締結の件 報告第 3 号 「鹿児島市社会福祉協議会 事業継続計画 (BCP)」の策定について (決議事項) 第 7 号議案 令和 6 年度収支補正予算 (第 3 号) 第 8 号議案 定款一部変更の件 第 9 号議案 役員等の報酬等に関する規程一部改正の件 第10号議案 令和 7 年度事業計画 第11号議案 令和 7 年度収支予算

3 評議員選任・解任委員会

	開催日	審議事項
第 1 回 評議員選任・ 解任委員会	6月6日	(決議事項) 第 1 号議案 評議員の退任に伴う補欠選任の件
第 2 回 評議員選任・ 解任委員会 (決議の省略)	10月25日	(決議事項) 第 2 号議案 評議員の退任に伴う補欠選任の件

第 2 監査

	開催日	監査事項
決算監査 (監事監査)	5月13日 5月14日 5月15日	令和 5 年度中の業務執行及び会計処理状況
中間監査 (監事監査)	11月8日	次の課における令和 6 年度 (4 月 ~ 1 0 月) の 業務執行及び会計処理状況 ・ 認定調査課 ・ 成年後見センター ・ 福祉資金課 ・ 吉田支部・吉田福祉センター ・ 喜入支部 ・ 松元支部 ・ 心身障害者総合福祉センター
内部監査	11月14日	次の課における令和 6 年度 (4 月 ~ 1 0 月) 業務 執行及び会計処理状況 ・ 高齢者福祉センター 7 館

第3 実施事業の概要

凡例	[]内の数字は、 前年度の実績
----	---------------------

1 地域福祉活動の推進

重層的支援体制整備事業において地域づくり事業を新たに受託したほか、地域デビュー講座の新規開催、子ども食堂への支援、各福祉団体への支援などを行いました。

(1) 地域福祉活動計画の進行管理

① 地域福祉活動計画推進委員会

	開催日	内容
第1回	7月29日	第5次地域福祉活動計画の実施状況等について ・令和5年度の実施状況報告 ・令和6年度の具体的な取組

(2) 地域デビュー講座【新規】

地域活動の担い手の確保や参加促進につなげることを目的に3回シリーズで講座を開催しました。講座の受講を通して、校区社協活動やボランティア活動へ参加を希望した方にはフォローアップを行いました。

内容	開催日	参加人数
講演：「ボランティア活動で地域につながろう！」 講師：日本ボランティアコーディネーター協会 理事 小原 宗一氏	11月30日	36
ワークショップ：「はじめの一步はどこにする？地域デビューの入り口探し」 講師：日本ボランティアコーディネーター協会 疋田 恵子氏	12月7日	29
活動発表：「鹿児島市内の地域福祉活動やボランティア活動を学ぼう！」 講師：八幡校区社会福祉協議会 会長 山口 俊郎氏、 福祉委員 野村 ヨシ子氏、 かごしまこども食堂支援センターたくして 古井 露子氏	12月21日	35
フォローアップ支援人数		10

(3) 重層的支援体制整備事業（市から受託）

「アウトリーチ等を通じた継続的支援及び参加支援業務」に加え、「地域づくり事業」を新規で受託し、複雑化・複合化した課題に対して関係機関と連携しながら必要な支援を行いました。

① アウトリーチ等を通じた継続的支援及び参加支援業務

相談件数		支援プラン作成件数					対応件数			終結 件数
新規	継続	介護	障害		子ども	困窮	継続	他課	他機関	
			精神	他						
38 [11]	11 [0]	22 [5]	27 [5]	9 [5]	7 [4]	25 [2]	34 [11]	5 [0]	5 [2]	4 [0]

② 地域づくり事業【新規】

地域つながり支援員を新たに採用し、地域福祉支援員と連携して、地域の団体や住民からの相談等に応じ、課題の分析や改善策の助言を行いました。

(4) 「社会福祉法人連絡会」の取組

社会福祉法人が分野を越えて相互に連携・協働しながら、情報共有や地域生活課題の解決につなげていくために、本会が中心となり、周知広報用のぼり旗を作成・配布したほか、法人職員を対象にした研修会を実施しました。

内容	開催日	参加人数
・鹿児島市における重層的支援体制整備事業について ・重層的支援体制整備事業の現状について ・グループワーク（分野を超えた相談で対応に苦慮したこと 等）	12月18日	31人 (23法人)

(5) 子ども食堂への支援

子ども食堂の安定的かつ継続的な運営を支援するため、引き続き助成を行うとともに、ホームページ等による広報を行いました。

助成団体数	41[37]
-------	--------

(6) 民間福祉団体に対する助成

福祉活動の推進に努めている民間福祉団体に対し、助成金を交付しました。

助成対象	件数
市地区民児協	50[50]
市単位高齢者クラブ	303[312]
民間福祉団体等大会開催助成金	1[0]

(7) 地域福祉活動助成

共同募金運動に協力した町内会等の団体に対して、助成金を交付しました。

助成対象	件数
町内会・自治会等	518[530]
地区民児協	44[44]
校区社協等	5[5]

(8) 車椅子の貸出

家庭や外出などで一時的に車椅子が必要な方に、無料貸出を行いました。

貸出台数 合計	内 訳						地域福祉館
	本部等	支部					
		吉田	桜島	喜入	松元	郡山	
907[783]	328	13	12	12	31	24	487

（使用目的内訳 家族等介助：837、福祉イベント等：51、総合学習：19）

(9) ベビースケール等の設置

育児不安の軽減を図るため、児童ルームが設置されている一部の地域福祉館（坂之上、武岡、田上台、吉野、東谷山、宇宿中間、伊敷台）にベビースケール（乳児体重計）等を配置しました。

利用件数	ベビースケール	乳幼児身長計
	209[211]	188[206]

(10) 「かごしまおもいやりネットワーク事業」への参加

県社会福祉法人経営者協議会が中心となり、社会福祉法人が連携して生活困窮者に対する相談や支援活動を行う「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参加しました。

受付・支援件数	5[2]
---------	------

(11) 福祉功労者表彰式の開催

社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方々を表彰しました。

- ・開催日 11月29日
- ・場 所 かがしま市民福祉プラザ5階 大会議室

表彰状の部	区分	人数	団体数
	民生委員・児童委員	157[14]	—
感謝状の部	校区社協の役職員	4[3]	—
	本会の役員	—[2]	—
	ボランティア活動	1[5]	5[3]
	社会福祉事業関係団体等	—	2[2]
	合計	162[24]	7[5]
感謝状の部	寄附	5[8]	24[16]
	篤行者	—[1]	—
	共同募金運動	—	5[8]
	合計	5[9]	29[24]

(12) 災害罹災者への見舞品支給

災害（火災、暴風、豪雨等）により被害を受けた方に、見舞品を支給しました。

災害種別	見舞品	件数
火災	タオルセット	3[16]

(13) ご近所サロン支援事業の実施

地域において「集い」や「通い」の場としてサロン活動を実施する団体に対し、助成金を交付しました。

助成団体数	39[21]
-------	--------

(14) 子ども宅食モデル事業の実施

経済的な理由で子どもの食事の用意に困ることがある180世帯に、食品等の配布と有益な情報発信、相談支援の案内を行いました。

種別	内容	配布時期	延配布世帯数	備考
定期便	本会購入の食品	7、10、12、2月	719	2月に1世帯辞退
臨時便	寄贈された食品や日用品	3月	28	—

2 校区社協活動への支援

校区社会福祉協議会連絡協議会（以下「校区社協連」という。）の運営支援及び各校区社協が行う活動に対する支援、助成を行うとともに、講座や研修会の開催、校区社協を通じた「救急医療情報キット」の配布などを行いました。

(1) 校区社協連の運営支援

① 会議開催の支援

校区社会連の総会、幹事会の開催を支援しました。

	開催時期	主な内容
総会	4月	・令和5年度校区社協連活動報告 ・令和6年度校区社協連活動計画 ・ご近所サロン支援事業
幹事会	4月（第1回）	・校区社協活動事例集の作成 ・校区社協活動福祉委員の缶バッジ作成・配布 ・重層的支援体制整備事業（総会時のみ）
	10月（第2回）	・令和6年度校区社協連活動経過報告 ・令和6年度地域別意見交換会の開催 ・令和7年度校区社協連活動計画

② テーマ別研修会

活動をより具体的に進めていくために、テーマ別研修会の開催を支援しました。

内容	開催日	参加 校区数	参加 人数
講話：「精神障害について正しく理解しよう」 講師：市保健支援課 ①保健師 岩元 蓮 氏 ②保健師 松崎 栄香 氏	① 8月9日	40	59
	② 8月20日	24	40
	合計	64[62]	99[98]

(2) 各校区社協活動推進のための支援

① 校区社協の状況

	構成数
校区社協	74[74]

② 校区社協への支援状況

内容	校区社協数
地域性に応じた活動を促進するため活動費の一部を助成	74[74]
広報紙を発行している校区社協に作成費の一部を助成	55[57]
横断幕、のぼり旗、ジャンパー等の広報用資材作製費の一部を助成	13[28]
ホームページの各校区社協ごとの広報用ページにより活動内容を掲載し、広報を支援	74[74]
要支援者の見守り活動等の更なる充実を図ることを目的とした支え合いマップ作成を推進するための研修会を実施	6[4]
プラスチック製容器（キット）に対象者の医療情報を記載する用紙等を入れて冷蔵庫に保管する「救急医療情報キット」を、校区社協を通じて希望する高齢者世帯等に配布	42(1,919セット) [38(2,731セット)]

③ 校区社協地域別意見交換会の開催

校区社協相互の情報共有と交流を図るため、市内を8つの地域に分けて意見交換会を開催しました。

	校区社協名	校 区 社協数	参加 人数	開催日	会場
1	名山・原良・八幡・紫原・桜丘東・ 田上・伊敷・大明丘・春山	9	17	11月26日	かごしま市 民福祉プラ ザ
2	山下・荒田・明和・西紫原・桜丘西・ 武岡・花野・本城・吉野東	9	14	11月27日	
3	松原・中郡・西田・鴨池・広木・東昌・ 伊敷台・牟礼岡・犬迫・松元	10	19		
4	城南・坂元・東桜島地域・南・武岡台・ 西伊敷・川上・玉江	8	15	12月12日	
5	中洲・坂元台・桜島地域・宇宿・西陵・ 吉田・吉野・皆与志	8	15	12月13日	
6	草牟田・清水・大龍・向陽・武・宮・ 本名・小山田・郡山地域・石谷・星峯東	11	18		
7	谷山・星峯西・東谷山・清和・中山・ 平川・錫山・瀬々串・中名・一倉	10	18	12月19日	喜入公民館
8	和田・錦江台・西谷山・宮川・福平・ 皇徳寺・喜入・前之浜・生見	9	17		
合計		74 [73]	133 [138]		

(3) ふれあい子育てサロン活動に対する支援

① 活動費の助成

内容	校区社協数
諸謝金、会議費、保険料、広報費、会場借上料 等	63[62]

② 研修会の開催

内容	開催日	参加人数
講話：「体力と心の関係について知る」～親子に寄り添う私づくり～ 講師：(一社)体力メンテナンス協会 体力指導士 田崎 美嘉 氏	7月30日	91 [91]

(4) 介護講習会開催の支援

校区社協が開催する介護講習会について、高齢者や病氣療養者、認知症の高齢者等の介護に役立つよう、介護技術等の実技指導を含めた支援を行いました。

開催回数	校区社協数	参加人数
66[56]	53[45]	1,514[1,339]

(5) 校区社協活動事例集（第5集）の作成【新規】

地域住民に校区社協の活動について周知広報を図るとともに、地域の実情に応じた連携や協働による地域福祉活動の活性化につなげるため、校区社協活動事例集を作成しました。

冊子	DVD
2,000	5

(6) 校区社協福祉委員の缶バッジ作成・配布【新規】

地域住民に校区社協をPRするとともに、校区社協福祉委員を見守り活動者として認識していただくため、見守り活動の際に着用する缶バッジを作成し、希望する校区社協へ配布しました。

校区社協数	配布数
71	2,077

3 支部及び地域福祉館における地域福祉の推進

地域住民の交流や文化活動の場としての利用に加えて、福祉活動を推進する拠点施設として、小地域ネットワーク活動（校区社協、町内会等の地域の団体又は個人が連携して行う福祉活動）やボランティア活動の支援、福祉に関する相談への対応等に取り組みました。

(1) 小地域ネットワーク活動への支援

校区社協や地域福祉支援員と連携し、小地域ネットワーク活動の活性化を図るための支援を行いました。

① 小地域ネットワーク活動を行う団体の登録件数

ア 本部・支部

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
団体数	107 [102]	—	16	7	13	39	32
人数	22,220 [21,254]	—	2,758	1,899	2,823	9,502	5,238
団体間の連絡会等実施	148	124	0	0	6	15	3
団体に関する情報の収集	502	243	0	0	200	27	32
団体からの相談への対応	74	56	0	1	8	4	5
活動への助言等	327	166	0	3	134	15	9
活動団体との橋渡し	55	55	0	0	0	0	0
共催イベントの企画	11	11	0	0	0	0	0
団体の会合等への参加	426	235	53	5	65	53	15
事務作業への助言等	633	275	78	37	71	140	32
人材の掘起し	0	0	0	0	0	0	0
その他	849	695	13	71	5	1	64
合計	3,025 [2,693]	1,860	144	117	489	255	160

イ 地域福祉館

団体数	457[476]
人数	163,638[165,322]

② 支援ルームの提供

小地域ネットワーク活動を行う団体等に対して、事務作業や情報交換、資料の整理保管等を行うために支援ルームを提供しました。

団体数	2,234[1,483]
-----	--------------

(2) ボランティア活動への支援

ボランティア活動の登録受付等、活動の活性化を図るための支援を行いました。

登録件数
235[231]

(3) 福祉に関する相談・情報提供

福祉全般に関する相談に応じ、必要な場合は各専門機関への橋渡しを行いました。

① 本部・支部における受付状況

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
受付件数	143[104]	98	2	17	16	2	8
職業・生計	88	79	1	2	4	2	0
家族・健康・教育	42	38	1	0	0	0	3
福祉関係(高齢・障害等)	51	29	0	15	4	0	3
その他(財産・法律等)	16	6	0	0	8	0	2

② 地域福祉館における受付状況

受付件数	1,022[481]
------	------------

(4) サロン実施状況

地域住民の居場所づくりを目的として、地域福祉館においてボランティアが主体となり運営する福祉館サロン等を実施しました。

内訳	実施館数	利用人数
福祉館サロン	13[14]	3,523[3,483]
毎日サロン「かたいもんそ」	36[36]	6,347[4,908]

(5) 地域福祉館ネットワーク団体会議等開催状況

地域福祉館が中心となり、ネットワーク団体間の連携を深めることを目的にした地域福祉館ネットワーク団体会議や清掃活動等の合同イベントを開催しました。

内訳	開催館数
地域福祉館ネットワーク団体会議	4[3]
ネットワーク団体との合同イベント	2[2]

(6) 地域福祉支援員活動事業（市から受託）

① 地域福祉支援員及び地域つながり支援員による支援

活動区域を市内8つのブロックに分け、校区社協や町内会、地区民児協と連携を図りながら、地域福祉ネットワークの拡充について支援を行いました。

内訳	件数
地域の情報の把握・情報提供等	10,233
小地域ネットワーク活動	5,172
地域福祉館との連携	1,526
その他(子育てサロン等)	3,535
団体や個人からの相談	3,631
福祉マップ作成支援	64
合計	13,928[14,491]

② 校区社協の見守りネットワーク活動への支援状況

ひとり暮らしの高齢者の孤独死防止等のため、安否確認が必要と思われる方々に対する声かけや目配り・気配り等の見守り活動についての助言指導を行いました。

校区社協数	60[59]
-------	--------

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動を通じて市民の福祉に関する理解と関心を高めるとともに、広くボランティア活動の振興を図るため、ボランティアセンターを運営しました。

① 開館日数・来館者数

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
開館日数	—	242	296	295	244	244	295
延利用人数	38,101 [35,167]	37,606	205	76	38	89	87

② ボランティアコーディネートの実施

活動を行う個人・団体と支援を求めている個人・団体との仲介を行いました。

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
コーディネート件数	619 [661]	459	0	4	0	0	156
高齢者関係	33	0	0	0	0	0	33
障害者関係	9	9	0	0	0	0	0
子ども・青少年	334	334	0	0	0	0	0
託児	26	2	0	0	0	0	24
自然・環境	57	57	0	0	0	0	0
演芸・音楽	101	0	0	4	0	0	97
その他	59	57	0	0	0	0	2
コーディネート人数	1,411 [1,388]	732	0	8	0	0	671

③ ボランティア活動についての相談・助言等

活動についての参加や依頼等の相談を受け付け、助言等を行いました。

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
受付件数	1,789 [2,471]	1,591	27	16	40	26	89
活動参加	310	294	0	3	0	0	13
活動依頼	176	163	1	0	0	0	12
情報提供	25	18	1	0	2	2	2
保険・登録関係	1,017	920	25	8	29	5	30
ポスター等掲示	22	22	0	0	0	0	0
その他	239	174	0	5	9	19	32

④ ボランティア団体・個人登録の推進

活動を行う団体等の登録を推進し、情報提供等の支援を行いました。

内訳	ボランティア登録件数	
	団体数	合計人数
団体数	332	29,470 [30,399]
構成員人数	29,110	
個人数	360	

(2) ボランティア活動の啓発・推進

① ボランティア活動推進委員会の開催

ボランティア活動の推進とボランティアセンターの運営等について、審議しました。

開催日	内容
6月24日	・令和5年度ボランティア活動振興事業の実施報告について ・令和6年度ボランティア活動振興事業の実施計画について

② 各種講座の開催

名称	内容	開催回数	参加人数
ボランティア入門講座	活動を始めようとする方等を対象とした講座を実施	6	83
ボランティア出前講座	学校や地域からの依頼により、職員が出向いて講話や車椅子体験等を実施	23	1,788
ボランティアセンター講座	ボランティアセンターを会場として、講話や車椅子体験等の講座を実施	1	12
合計		30 [37]	1,883 [1,883]

③ ボランティア活動啓発のためのイベント開催

名称・内容	開催時期	参加人数等
第11回わくわく福祉交流フェア（市と共催） 市民の福祉への理解を深める交流イベントとして、ボランティアや福祉施設、関係団体等による模擬店、バザー等の催しを実施	11月10日	13,000
「社会人のボランティア体験事業」の実施 ボランティア活動をしたいと考えている社会人に、体験する機会を提供	2月	体験施設数：5 体験者数：5

④ 広報紙「ボラセンだより」の発行

「ボラセンだより」を発行（年3回）し、ボランティア登録団体・個人、学校、公共施設等に配布しました。

発行時期	部数
第77号(10月)	各8,000
第78号(1月)	
第79号(4月)	
合計	24,000[30,000]

⑤ ボランティア活動保険助成

安心してボランティア活動を行っていただくために、ボランティア活動保険加入者に対し1人当たり100円の助成を行い、保険への加入促進を図りました。

内訳	合計	本部	支部				
			吉田	桜島	喜入	松元	郡山
加入人数	6,860[9,343]	6,581	11	1	175	21	71
助成人数	4,415[4,840]	4,148	11	1	163	21	71

⑥ 収集ボランティアの推進

簡単に自宅でできるボランティア活動として、収集ボランティアを推進しました。

収集品名	実績値
ペットボトルキャップ	1,427.7kg[1,545.6kg]
使用済み切手	10.7kg[23.2kg]
コンタクトレンズの空ケース	39.5kg[33.8kg]
書き損じはがき	1,529枚[1,384枚]

⑦ かがしまボランティア連絡協議会への支援

ボランティア団体間の交流促進などを行う団体に、助成を行いました。

⑧ その他

内容	開催時期	参加人数等
「喜入地域福祉ボランティアの集い」の開催 校区社協による事例発表や相互交流を実施	1月	220[201]
「郡山地域ボランティア登録者の会」の開催 ボランティア団体と福祉施設等のニーズ団体との 日程調整等や意見交換を実施	3月	ボランティア団体数：9 ニ ー ズ団体数：9

(3) ボランティア推進校の支援

児童・生徒が様々なボランティア活動を体験して福祉の心や社会奉仕の精神を育むことを目的に、小・中・高・特別支援学校をボランティア推進校として指定し、連絡会や研修会等を開催するとともに、活動費の助成等の支援を行いました。

① ボランティア推進校の指定・支援

市内の小・中・高等学校、特別支援学校をボランティア推進校として指定し、支援を行いました。

合計	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
150[150]	81	45	23	1

② ボランティア推進校連絡会、ボランティアリーダー研修会等の開催

内容	開催日	参加者	
		校数	延人数
ボランティア推進校連絡会	5月24日	47	47
ボランティアリーダー研修会	8月 7日	11	38
ボランティア推進校指導者研修会	1月17日	44	44
合計		102[94]	129[113]

③ サマーボランティア体験事業

ボランティア活動に関心のある児童・生徒・学生を対象に、夏休み期間中に福祉施設で活動を体験する事業を5年ぶりに行いました。

区分	参加人数	区分	受入施設数
小学生	48	児童施設	33
中学生	42	高齢者施設	16
高校生	84	障害者施設	4
専門学生・短大生・大学生	47	その他	3
合計	221	合計	56

④ ボランティア推進校の表彰

ボランティア推進校の中で、功績が顕著な学校を表彰しました。

区分	学校数	内訳
特別表彰	4[4]	(最優秀賞) 高等学校1 (優 秀 賞) 小学校1、中学校1、高等学校1
一般表彰	3[3]	中学校2、高等学校1

⑤ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業

児童・生徒のボランティア活動へのきっかけづくりと継続を図るため、「私のふれあいボランティア活動カード」を配布し、10ポイント貯まるごとに「ボランティア活動認定証」を発行しました。

ボランティア活動認定証の発行枚数	143[201]
------------------	----------

⑥ 「青少年ボランティア活動記録集」の作成

児童・生徒によるボランティア活動を冊子としてまとめ、学校等に配布しました。

発行時期	発行部数
3月	500[500]

(4) シニアボランティア活動等の支援

① 高齢者いきいきポイント推進事業（市から受託）

本会が管理、募集するボランティア活動等や健康診査の受診を行った65歳以上の元気な高齢者にポイントを付与し、生きがいづくりや健康づくりを促進しました。

② 介護施設ボランティアポイント事業（市から受託）

介護施設でボランティア活動を行った市民（年齢制限なし）にポイントを付与し、地域全体で高齢者を支える意識を高めるための活動を促進しました。

（①・②共通）

登録人数 （累計）	うち新規	ボランティア活動 保険加入人数	受入施設数	事業説明会 回数
1,802 [1,708]	94 [50]	339 [1,188]	269 [249]	6 [4]

③ ボランティア活動者養成講座（市から受託）

上記ア、イの事業において活動実績のない登録者を対象に、介護施設での活動を体験していただき、施設及び介護職に対する理解や関心を高め、施設でのボランティア活動の促進を図りました。

受講人数	受入施設数
11[14]	8[8]

(5) 災害ボランティア活動の支援

能登半島地震及び奥能登豪雨で被災した石川県珠洲市の災害ボランティアセンターへ3回にわたり職員を派遣しました。また、本市で大規模災害が発生した場合に備え、本会職員を対象にした研修会を開催するとともに、桜島火山爆発総合防災訓練では、災害ボランティアセンターの活動等紹介を行いました。

このほか、市と「災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定」を、市及び市内9ライオンズクラブと「災害ボランティア活動に関する協力協定」を締結しました。

① 珠洲市災害ボランティアセンターへの職員派遣

期 間	人数	主な業務内容
5月26日～6月1日（7日間）	1	現地調査 （依頼に基づき、被災場所に出向いて活動場所の現状把握及び必要となるボランティアの人員や資材等の詳細調査を行う業務）
6月19日～6月25日（7日間）	1	
10月2日～10月7日（6日間）	1	
計	3	

② 研修会等

研修会等	開催日	内容	参加人数
第1回災害ボランティア研修会	9月18日	・災害ボランティアセンター設置・運営について ・珠洲市災害ボランティアセンター派遣報告	50[44]
第2回災害ボランティア研修会	11月15日 11月22日	・災害ボランティアセンター運営者研修 （災害ボランティアセンター運営者研修モデル事業）	33[53]
桜島火山爆発総合防災訓練	1月11日	・災害ボランティアセンターの活動等紹介 （パネル展示）	5[29]

5 成年後見制度の利用促進

成年後見センター運營業務（市から受託）

認知症や知的障害等により判断能力の不十分な方々が、自分らしく安心して暮らすことができるよう「成年後見制度」に関する相談、利用支援、広報啓発を行いました。

(1) 相談の状況

① 開館日数・相談件数

開館日数	相談件数	新規	継続
242[242]	987[970]	478[557]	509[413]

② 相談件数の内訳

相談者	件数
本人	132
親族	505
知人・近隣者	16
民生委員	2
地域包括支援センター	39
居宅介護支援事業所	63
障害者基幹相談支援センター	1
障害者相談支援事業所	12
医療機関	82
福祉施設	39
法律職	14
行政機関	36
後見人等受任者	8
その他	38
合計	987 [970]

相談の対象者	件数
高齢者	607
知的障害者	125
精神障害者	134
不明・その他	121

※「不明・その他」とは、電話による相談で本人の状況が確認できないもの等

相談の方法	件数
電話	641
来所	296
訪問	50
その他（リモート）	0

相談の内容（重複あり）		件数	合計
相談員相談	成年後見制度に関すること	494	1,915 [2,118]
	申立手続に関すること	555	
	申立人に関すること	94	
	後見人等に関すること	226	
	申立・報酬費用に関すること	117	
	財産管理に関すること	145	
	身上保護に関すること	36	
	権利侵害に関すること	16	
	市長申立てに関すること	25	
	研修等に関すること	19	
	その他（他団体へのつなぎ等）	188	
専門職相談 （弁護士・司法書士によるもの）	申立支援	12	33 [30]
	債務整理	1	
	相続手続	8	
	財産の処分	7	
	訴訟手続等	0	
	その他（制度利用等）	5	
合計			1,948 [2,148]

③ 専門ケース会議

総合的な専門的知見が必要な事案について、市や専門職団体等を構成メンバーとする会議を開催し、成年後見制度の必要性や適切な支援内容を検討し相談者に助言を行いました。

開催数	事案数
4[4]	4[4]

(2) 成年後見制度に関する広報及び啓発

① 講座の開催

開催日	内 容	参加人数
11月13日	講師：司法書士 安田 健太郎氏	58
11月16日	・成年後見制度の概要と申し立てについて ・後見人活動の実際と家庭裁判所とのかかわり	52

② 訪問等による広報

関係団体等が主催する会合等に参加し、成年後見センターの紹介や制度の説明等を行いました。

訪問先	訪問数
病院	16
高齢者関係団体・施設（特別養護老人ホーム等）	14
障害者関係団体・施設（相談支援事業所等）	56
その他（金融機関等）	10
合計	96[295]

(3) 成年後見制度利用促進に関する業務

① 成年後見制度推進協議会の運営

成年後見制度の利用促進等についての意見交換、情報共有等を図るため、成年後見制度推進協議会の運営を市とともに行いました。

開催日	内容（成年後見センター関係分）
6月27日	【報告】令和5年度鹿児島市成年後見センター業務報告 【報告】令和6年度鹿児島市成年後見センター業務計画
3月18日	【報告】令和6年度受任者調整会議の実施状況 【協議】後見センターで受けた相談から事例検討

② 受任者調整会議の開催

本人の状況や特性を踏まえ、適切な後見人等を家庭裁判所に推薦するための受任者調整会議を開催しました。

開催数	事案数
5[9]	6[10]

6 介護認定調査の実施（市から受託）

介護認定調査員が介護保険申請者の自宅を訪問し、本人や家族から心身の状況について聞き取り調査を行う介護認定調査事業等を実施しました。

(1) 介護認定調査

内容	件数
受 託	25,186
調 査	23,775[24,524]

(3) 介護保険主治医意見書送付回収

内容	件数
受 託	26,002
回 収	25,788[25,302]

(2) 介護扶助認定調査

内容	件数
受 託	160
調 査	152[144]

(4) 他市町村認定調査

内容	件数
受 託	1,151
調 査	1,047[1,135]

7 心身障害者(児)福祉活動の推進

障害者の方々の生活の充実のために、地域活動支援センター運営事業等を実施しました。

(1) 地域活動支援センター運営事業（市から受託）

① 機能訓練実施状況

登録人数	実施回数	延利用人数
6[6]	92[91]	244[229]

② 各種講座開催

	内容	開催回数	登録人数	延受講人数
通年講座	料理講座	21	12	150
	点字講座	11	10	91
	点字パソコン講座	23	10	148
	手話講座	24	11	111
	カラオケ講座A	22	15	123
	カラオケ講座B	35	23	597
	民謡講座	24	13	170
	三味線講座	24	7	116
	洋裁講座	24	12	149
	大正琴講座	12	3	21
	生花講座	23	8	106
	茶道講座	24	8	102
	卓球講座	22	21	208
	卓球バレー講座A	49	21	509
	卓球バレー講座B	21	17	149
	太極拳講座	11	7	39
	書道講座	24	14	157
	合計	394[405]	212	2,946[2,634]
短期講座	健康体操講座	6	36	77
	スポレク講座	4	14	25
	フライングディスク講座	4	9	17
	英会話講座	3	12	17
	ネイル講座	2	6	8
	折り紙講座	2	12	18
	合計	21[31]	89	162[197]

③ 送迎サービス（身体障害者福祉バス等運行状況）

運行回数	延利用人数
851[895]	2,898[2,834]

(2) 在宅重度中度心身障害児に対する見舞金贈呈

歳末たすけあい募金配分金から、民生委員・児童委員を通じて見舞金を贈呈しました。

対象	対象人数	見舞金
在宅重度中度心身障害児（１・２級）	749[707]	1人3,000円

8 高齢者福祉活動の推進

生きがいを持って安心して暮らせるために、安全杖の有償提供等を実施しました。

(1) 高齢者安全杖有償提供事業

生活の安全と行動範囲を広げる一助として、民生委員・児童委員の協力のもと、安全杖を有償（自己負担額500円）で提供しました。

提供本数 合計	内 訳						地域福祉館
	本部等	支 部					
		吉田	桜島	喜入	松元	郡山	
1,007[1,046]	231	14	23	34	27	30	648

(2) 高齢者クラブへの助成（再掲）

自主的に福祉活動に取り組んでいる高齢者クラブに対して、助成を行いました。

(3) 在宅の寝たきりの高齢者に対する見舞品贈呈

在宅寝たきりの高齢者の方々に、民生委員・児童委員を通じて見舞品を贈呈しました。

内容	贈呈人数
大判バスタオル	1,582[1,624]

9 施設の管理運営

(1) 福祉コミュニティセンター

高齢者や障害者の方々の相互交流を図り、生きがいと健康づくりを支援するため、温泉入浴、健康相談、教養講座等のサービスを提供し、市民福祉の向上に努めました。

① 開館日数・利用状況

開館日数	うち温泉入浴	延利用人数			1 日平均
		温泉入浴	高齢者	19,034	
295	287		障害者	7,841	27
		その他(会議室、教養講座等)		15,403	52
		合計		42,278 [43,490]	145

※ 台風10号の接近に伴い、8月28日・29日は臨時休館

② 健康相談の開催状況

開催日数	延相談人数
92	1,345[1,656]

③ 各種講座

種別	講座	回数	延受講人数	
			合計	
教養講座	華道（池坊）	7	59	1,182[1,148]
	茶道入門	11	112	
	茶道初級	12	113	
	さつま狂句	8	97	
	囲碁入門	10	182	
	実践囲碁	10	241	
	たのしいヨガ	12	184	
	なつかしの唱歌	12	194	
センター主催	コミセン短期講座	14	141	141[179]

④ コミセン祭りの開催

開催日	参加人数	参加者内訳
12月7日	325[263]	出演者114、観覧者99、お茶会112

⑤ 会議室等の貸出し状況

件数	延利用人数
300	11,463[10,635]

(2) 高齢者福祉センター（市から指定管理）

高齢者の方々の相互のふれあいと交流を深め、生きがいと健康づくりの増進を支援しました。

① 開館日数

施設	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
日数	295	294	295	295	295	295	295

※ 台風10号の接近に伴い、8月28日・29日は全施設臨時休館

※ 落雷被害停電のため、8月6日は東桜島臨時休館

※ 施設整備等に伴う浴室(水着浴室含む)の臨時休業等は、次のとおり

	時期	日数
谷山	3月11日～13日(地下ピット内給湯配管修繕のため浴室休業)	3日
東桜島	8月9日(温泉水の濁り発生のため浴室休業)	1日
	1月12日, 14～15日(温泉熱交換器不具合のため浴室利用15時迄)	3日
	1月16日(温泉熱交換器故障のため浴室休業)	1日
吉野	1月25～26日(LED工事のため水着浴室休業)	2日

② 利用人数

内訳	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
浴室	39,370 (133.5)	6,425 (21.9)	48,116 (164.8)	4,033 (13.6)	—	37,806 (128.1)	35,382 (119.9)
水着 浴室	—	—	31,865 (108.0)	—	—	36,021 (122.9)	—
その他	30,632 (103.8)	685 (2.3)	77,445 (262.5)	13,695 (46.4)	5,321 (18.0)	41,305 (140.0)	47,980 (162.6)
合計	70,002 [67,235]	7,110 [9,827]	157,426 [156,808]	17,728 [16,999]	5,321 [4,687]	115,132 [117,873]	83,362 [80,098]

※ ()の数字は、1日当たりの平均人数

※ 東桜島は、1月16日温泉熱交換器故障発生のため以後、シャワーのみで温泉営業

※ 浴室・水着浴室以外の利用については、次のとおり

与次郎	集会室、教養講座室、トレーニング室、娯楽室、カラオケ室等
東桜島	休養室、集会室、会議室、図書室、相談室、ゲートボール場等
谷 山	トレーニング・レクリエーション室、集会室、娯楽室等
桜 島	集会室、教養娯楽室、屋根付ゲートボール場等
郡 山	大広間、会議室、娯楽室、ゲートボール場、調理室等
吉 野	トレーニング・レクリエーション室、集会室、多目的室等
伊 敷	トレーニング・レクリエーション室、娯楽室、多目的広場等

③ 教養講座の開催状況

施設	内容		回数	延受講人数	合計人数
与次郎	前期	簡単ヨガ	8	240	1,824 [963]
		ストレッチ	8	188	
		あのうたこのうた、懐かしい歌	8	226	
		リンパマッサージとお灸	8	124	
		ウエルネス体操	8	145	
	後期	簡単ヨガ	8	228	
		ストレッチ	8	178	
		あのうたこのうた、懐かしい歌	8	199	
		リンパマッサージとお灸	8	118	
		ウエルネス体操	8	178	
東桜島	健康体操		7	78	190 [158]
	健康レクリエーション講座		7	68	
	脳若トレーニング講座		6	44	
谷山	健康力を高める太極拳		10	182	722 [669]
	フラダンス de 健康に		10	179	
	基礎からわかるスマホ		10	96	
	自分でできるお灸リンパマッサージ		10	134	
	折り紙で四季を楽しもう		10	131	
桜島	いきいき健康体操		8	54	596 [712]
	楽しいグラウンドゴルフ		8	204	
	エコクラフト（初級）		8	90	
	エコクラフト（中級）		8	93	
	脳若トレーニング		8	75	
	ららら歌おう思い出の歌		8	63	
	はじめてのヨガ		2	17	
郡山	歌おう！懐かしい歌・思い出の歌		10	106	419 [513]
	体にやさしい季節の料理		10	83	
	心と体の健康体操		10	178	
	リフレッシュ！脳若返り		10	52	
吉野	介護予防養生太極拳		10	165	712 [610]
	脳活！健康体操		10	158	
	お灸とリンパマッサージ		10	173	
	楽しいエクササイズ		10	148	
	スマホ講座		8	68	
伊敷	脳活！健康体操		10	245	1,057 [922]
	やさしいヨガ！		10	228	
	つばと健康		10	225	
	脳トレ！囲碁		10	113	
	歌をうたって免疫力を高めましょう♪		10	246	

④ 健康相談の開催状況

施設	与次郎	東桜島	谷山	桜島	郡山	吉野	伊敷
回数	6	5	6	6	6	12	6
延相談人数	24 [19]	25 [77]	30 [29]	165 [116]	6 [17]	49 [53]	18 [25]

⑤ その他

施設	内容		回数	参加人数	合計人数
与次郎	いつまでも動けるカラダをつくるフレイル予防について		1	15	350 [216]
	カラオケ講座		1	35	
	卓球講座		3	44	
	スマートフォン講座		2	47	
	手軽な抹茶でほっと一息		1	26	
	おうちで生かすオーラルフレイル対応の秘訣		1	20	
	クラフトで干支を作ろう		1	9	
	与次郎まつり		1	154	
谷山	介護予防のためのわくわく健康体操		1	27	2,029 [2,378]
	「私のエンディングノート」書き方講座		1	44	
	ふれあいミニコンサート		1	81	
	3世代で楽しむ運動時間		1	24	
	遊々筆ペン講座		1	20	
	七夕飾り付け交流会		1	43	
	たにっこりんと七夕交流会		1	15	
	開館24周年記念生きがい祭り		1	225	
	たにっこりんとのお正月遊び		1	14	
	水中エアロビクス運動指導		51	1,441	
	高齢者向けデジタル相談会		2	74	
	敬老奉仕活動 無料マッサージ		1	21	
桜島	高齢者福祉センター桜島杯ゲートボール大会		1	31	31 [40]
東桜島	交通安全教室		1	9	25 [43]
	スマホ教室		2	16	
郡山	ふれあい教室	はじめての切り絵	3	19	566 [530]
		理学療法士による健康づくり	3	55	
		ふるさとの料理	3	32	
		元気が出る健康体操	3	54	
		楽しく歌う懐かしのメロディ	3	40	
		ゆうゆう気功	2	26	
		昭和歌謡・思い出の歌	2	31	
		本場韓国の家庭料理	2	25	
		体がよろこぶ体操	2	54	
	生き生き元気講座	私のエンディングノートの書き方	1	26	
		わくわくニューススポーツ体験	1	41	
		脳を活性化して健康で長生き	1	15	
		第2回郡山ふれあい祭り（舞台発表・作品展示発表）		1	
吉野	よかよか体操		45	677	2,558 [2,206]
	水中運動の効果と実践方法について		1	16	
	生きがいとふれあいの祭り		1	252	
	水中運動指導		50	1,146	
	北部親子つどいの広場との共催交流イベント（七夕・クリスマス会）※1		2	260	
	高齢者向けデジタル相談会		2	79	
	交通安全講習会		1	15	
	フレイル予防講座		2	11	
	スマホ講座		4	52	
	敬老奉仕活動 無料マッサージ		1	50	
伊敷	西部親子つどいの広場との共催交流イベント※2		12	614	1,335 [771]
	交通安全24教室		3	51	
	「寒蘭会」 寒蘭展示		1	119	
	第12回すこやか長寿まつり高齢者作品展※3		1	551	

※1 北部親子つどいの広場の利用者を含む。 ※2 西部親子つどいの広場の利用者を含む。

※3 市主催の「すこやか長寿まつり」で、与次郎、谷山、吉野及び伊敷合同の作品展を開催したもの。

(3) 心身障害者総合福祉センター(ゆうあい館) (市から指定管理)

心身に障害のある方々に対し、ふれあいと自立活動を通じて、福祉の増進や社会参加の意欲向上を図るため、研修、相談、教養、レクリエーションの場を提供しました。

① 開館日数・利用状況

開館日数	延利用人数		1日平均
308	会議室等	17,785	57.7
	体育館	11,907	38.7
	相談室	724	2.4
	団体事務室、小規模作業所	12,683	41.2
	見学(ボランティア、実習生を含む。)	549	1.8
	合計	43,648[43,348]	141.8

※ 台風10号の接近に伴い、8月29日は臨時休館

② ことばの発達指導事業

ア ことばの発達指導

ことばの発達上指導が必要な幼児(3歳~就学前児)に対し、ことばの発達指導や保護者への助言を行いました。

実施日数	利用人数		
		実人数	延人数
225 [224]	相談	33	366
	指導	24	491
	合計	57[45]	857[928]

イ ことばの発達指導講演会開催

幼児のことばの発達に関心のある保護者・関係者を対象に、講演会を開催しました。

開催日	内容	受講者数
11月30日(土)	講師：井崎 基博氏 (熊本保健科学大学教授 言語聴覚士) 演題：ひとりひとりのことばを育てる	28

③ 福祉機器リサイクル事業

市民から無償で提供された車椅子等を、必要とする方へ無料であつ旋しました。

内訳	提供登録件数	譲受登録件数	引渡完了件数
車椅子	36	46	29
歩行補助用具	44	28	24
特殊寝台	3	3	3
エアーマット	1	0	0
合計	84[85]	77[69]	56[50]

④ 利用者相談・支援等事業

利用者の相談に応じるとともに、情報提供や助言、必要な福祉サービスの利用支援等を行いました。

内訳	延相談人数
更生相談	26[18]
健康相談	698[854]
合計	724[872]

⑤ 障害者IT講習会開催事業

パソコン等の操作方法を習得する講習会を開催し、社会参加への促進を図りました。

開設講座数	18（パソコン基礎、エクセル基礎等） [16]			
受講者人数 (障害種別)	肢体・内部	聴覚	視覚	合計
	47	20	6	73[62]

(4) 吉田福祉センター（市から指定管理）

地域における福祉活動の拠点及び地域住民のコミュニティづくりやボランティア活動の場として、広く市民に利用していただくための運営に努めました。

① 開館日数・利用状況

開館日数	延利用人数	1日平均
296	8,439[8,090]	28.5

※ 台風10号の接近に伴い、8月29日は臨時休館

② センター講座開催状況

内容	回数	延受講人数
ポルドブラ講座～バレエとダンスでエクササイズ～	8	73
心と身体をリラックスさせるアロマセラピー講座	3	45
はじめてのエコクラフト	1	13
親子でアロマ～遊びと香りを掛け合わせてみよう～	1	19
スマホ講座	6	71
折り紙講座	10	130
親子で折り紙講座	1	23
脳活！健康体操	8	70
親子エコクラフト講座（干支の置物作り）	1	11
エコクラフト講座（干支の置物作り）	1	10
合計		465[332]

③ 交流イベント開催状況

内容	実施日	人数
パネル展	1月14日～23日	74[134]
ふれあい交流発表会（積雪により中止）	—	—

(5) 地域福祉館（市から指定管理）

福祉館イベントや福祉館サロン等を実施するとともに、趣味団体等の利用促進を図り、地域福祉館(41館)の有効活用にも努めました。

① 開館日数・利用状況

開館日数	延利用人数		
	41館合計	1館当たり平均	1日平均
	346	599,134[590,579]	14,613
			41館合計42.2

※ 台風10号接近による避難所開設に伴い、8月29日は臨時休館

② 「福祉館だより」の発行

「福祉館だより」を41館それぞれで年4回発行し、町内会等に配布しました。

発行時期	部数
第59号(4月)	各16,000
第60号(7月)	
第61号(10月)	
第62号(1月)	
合計	64,000[64,000]

③ 福祉館イベントの開催

「七夕まつり」「福祉館まつり」「趣味活動グループの作品展」等、地域独自のイベントを開催しました。

回数	参加人数
73[73]	6,057[5,714]

④ 自主講座開催状況

地域福祉館主催の講座を開催しました。

内容	開催館数	回数	参加人数
ボランティア出前講座	2[4]	2[4]	52[89]

⑤ タブレットの貸出し[新規]

5年度に設置した公衆無線LAN（Wi-Fi）の活用を促進するため、タブレットの貸出しを行いました。

貸出回数	62（12福祉館）
------	-----------

10 生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会から受託）

生活福祉資金等の借入相談や申請受付、払込票等の発送を行いました。

また、特例貸付の償還に係る問合せへの対応や償還猶予申請の受付業務等を行いました。

(1) 貸付状況

① 生活福祉資金

市内に居住し、市民税・県民税が均等割課税以下の世帯等に対し、経済的自立や社会参加の促進、生活の安定を図るため、生活福祉資金の貸付を行いました。

貸付件数	貸付金額（円）
165[148]	60,321,000[49,588,000]

② 償還指導等の状況

未収債権解消のため、払込票等の発送を行いました。

(2) 借入相談等の状況

	合計	福祉資金課	谷山出張所	支部				
				吉田	桜島	喜入	松元	郡山
件数	2,065 [2,208]	1,910	125	11	0	4	11	4
借入相談	2,054	1,903	125	7	0	4	11	4
借受人・保証人の相談	2	0	0	2	0	0	0	0
民生委員の償還指導等相談	9	7	0	2	0	0	0	0

11 共同募金運動への取組

10月から12月までの3か月間、市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力しました。市共同募金委員会と連携して、赤い羽根ピンバッジを2千個作成し、民生委員・児童委員や協力企業等に配布するとともに、新たに地元プロスポーツチームの協力をいただき、赤い羽根とチームマスコットとのコラボ缶バッジを1千個（2チーム×2種類×250個）作成し、試合会場での募金活動の際に、募金協力者に配布しました。

種別	実績額（円）	備考
戸別募金	29,384,727	「街頭募金」は、33箇所を実施し、延べ101回、2,691人が参加しました。
街頭募金	3,386,745	
法人募金	8,226,838	
学校募金	1,706,637	
職域募金	3,251,994	
その他募金	2,400,168	
合計	48,357,109 [49,592,972]	

12 広報活動

(1) 広報紙の発行、ホームページ等による情報提供

① 「かごしま市社協だより」及び「音声版社協だより」の発行

町内会や関係団体等へ配布するとともに、第151号から内容を音声で読みあげるユニボイスを導入しました。

発行時期	部数	
	広報紙	音声版
第150号(10月)	34,500	180
第151号(1月)	30,000	180
第152号(4月)	30,000	180
合計	94,500[92,000]	540[540]

② ホームページによる情報提供

写真等の画像を多用して内容等の充実を図るとともに、事業や発信したい情報の随時更新に努めました。

③ SNSによる情報発信【新規】

LINE公式アカウントの友だち登録者に対して、子育て支援に係るイベント等の情報を発信しました。また、令和6年7月からフェイスブック、令和7年1月からインスタグラムを開設し、本会の事業に係る最新の情報や活動等を発信しました。

（投稿数）LINE31件、フェイスブック217件、インスタグラム74件

(2) 市広報紙「市民のひろば」や報道機関等の活用

各種イベントや講座の案内等の情報を「市民のひろば」へ掲載するとともに、新聞社等報道機関への取材依頼を行いました。

(3) 社協出前講座の実施

本会の活動に対する理解を深めていただくため、職員が市民の開催する集会等に出向き、事業についての説明を行いました。

テーマ	件数	実施課
共同募金～自分の町を良くするしくみ～	1[1]	企画総務課
支え合う地域づくりに参加してみよう！ ～地域福祉活動計画って何？～	3[2]	地域福祉推進課
地域でお互いに助け合い支え合う校区社協の活動について	2[1]	
人と人、人と地域のネットワークづくり ～近助について語り合いましょう～	12[9]	
身近な地域福祉館あなたも利用してみませんか？	2[1]	
教えて！成年後見制度	13[6]	成年後見センター
～あなたの一歩でみんなが笑顔に～誰でも気軽にボランティア	3[1]	ボランティアセンター
合計	36[21]	

13 法人の運営

(1) 理事会及び評議員会の開催（再掲）

事業計画及び事業報告、規程改正等重要な事項について審議するため、適宜、理事会及び評議員会を開催するとともに、業務執行状況や会計について監事等による監査を受けました。

(2) 自主財源の確保

① 財源の有効活用

適正な人員配置、効果的な積立金運用、競争入札の実施、節電対策の徹底等により、限られた財源の有効活用に努めました。

② 寄附の受入

多くの方々から地域福祉の増進のための寄附をいただきました。

種別	件数	受入額（円）
一般寄附	133[111]	6,393,053[3,592,871]
香典返し寄附	24[21]	2,299,000[618,000]
物品寄附	41[27]	153,489[374,372]

備考 物品寄附の受入額は、金額換算したもの。

物品寄附の内容	件数	物品寄附の内容	件数
紙オムツ等	13	布等	1
コピー用紙	9	車椅子	1
切手	3	座椅子	1
卓球台	2	絵画	1
おもちゃ	2	高齢者用杖	1
食品	2	ヘルメット	1
書籍	2	掃除機	1
点字器	1		

③ 本会会員の拡充

チラシやホームページによる広報、訪問依頼等を行い、多くの市民、団体、法人に会員として支援していただきました。

種別	加入数	会費納入額（円）
一般会員（年額 1千円～）	2,271人	3,191,000
団体会員（年額 2千円～）	66団体	272,000
法人会員（年額 5千円～）	528法人	4,061,000
合計		7,524,000 [7,349,000]

(3) 職員の資質向上

職務内容や職責に応じた研修等により、職員の資質向上に努めました。

① 主な研修会等の実績

テーマ・内容	開催日	参加人数
新規採用職員研修	4月11日、10月10日 11月12日	20
社会福祉施設等新任職員研修	5月15、16日	3
社会福祉施設職員等中堅職員研修	6月25、26日	1
社会福祉協議会2025研修会	6月28日	1
SNS講座	7月16日	3
介護認定調査員研修	7月24日、12月19日	77
社会福祉士実習指導者講習会	8月24、31日、9月1日	2
健康福祉局・子ども未来局相談員等研修会	9月3日	16
地域包括支援体制人材養成研修会【基礎編】	9月17日、10月18日、 11月15日	4
災害ボランティア研修会	9月18日	11
階層別研修会（所属長等）	9月26日	21

テーマ・内容	開催日	参加人数
地域福祉の現場研修	10月1日～1月31日	5
福祉ビジョン21世紀セミナー	10月9日	1
社会福祉施設等監督職員研修	10月24、25日	1
鹿児島市認定調査員地区別研修会	11月28日	39
全体研修会（クレーム対応、ハラスメント）	12月～1月	277
若年性認知症セミナー	12月13日	3
ふれあい・いきいきサロン研究集会inかごつま	12月17日	6
地域包括支援体制人材養成研修会【実践編】	1月16日、17日	5
スキルアップ研修会	1月23日	38
ジェンダー平等推進研修（一般事業主行動計画[女性活躍推進法関係]に基づく研修）	2月7日	37
全国小地域福祉活動サミット（オンライン）	2月15日	7
重層的支援体制整備事業実施市町村等連絡会地域共生・社会推進セミナー	2月28日	2

※ この他にも各課で適宜必要に応じた研修の実施・参加等を行いました。

② 地域福祉館職員の研修実績

テーマ・内容	開催日	参加人数
接遇研修	4月5日、18日、19日、10月17日、18日	232
新任職員研修	6月14日	35
普通救命講習	6月27日、28日、7月25日、26日、9月6日	234
①重層的支援体制整備事業について ②性の多様性を知ろう	6月5日	40
認知症サポーター養成講座	10月4日、12月11日、12日	162
クレーム対応研修	12月4日	41
グループワーク	1月30日、31日、2月20日、21日	193
①障害者福祉施策 ②手話や障害者コミュニケーションについて学ぼう	3月5日	41

(4) 事業継続計画（BCP）の策定[新規]

大規模災害等が発生した際に、被害を最小限に、また対応をより円滑に行うためには、平時における備えが必要であることから、大規模災害や感染症等流行時の備えとなる事業継続計画を策定しました。

（策定内容）

被害状況の想定、初動対応、災害等対策体制への移行、非常時優先業務の整理等

第4 相談・苦情の処理状況

内容	受付件数			処理状況	
	相談	苦情	合計	解決済	未解決
説明・情報不足	0	2	2	2	0
職員の態度	0	8	8	8	0
サービス内容	12	6	18	18	0
権利侵害	0	4	4	4	0
その他	31	19	50	50	0
合計	43 [38]	39 [64]	82 [102]	82 [102]	0 [0]